

平成28年度の第四錦林小学校の教育

<学校教育目標>

グローバル化時代によりよく生きるために、自ら考え行動する子を育てる
～一人ひとりに確かな学力をつける～

「グローバル化時代に」 … 子どもたちが成人する頃、グローバル化が進み、他国の人々と共に仕事や生活をすることが多くなると言われていることを踏まえ
「よりよく生きるために」 … 学ぶ目的を明らかにして（人として豊かに生きるために）
「自ら考え」 … 自主的に・主体的に（他人任せではなく自分の考え・自分の意志で）
「行動する」 … 求めたいのは行動力（念じるだけでなく・願うだけでなく）

<めざす子ども像>

すすんで聞き、すすんで話す子

<めざす教職員像>

～自ら考え行動する子どもを育てる 自ら考え行動する教職員～

- ・当たり前のことを当たり前にできる（かっこいいしきん教職員版）
- ・創造力と想像力をもち、主体的に学ぶ姿勢をもつ
- ・アイデアと実践力（温度差なく「共通実践」）がある
- ・子どもに向けるあたたかい眼差しをもち、誰一人見捨てない覚悟のある

<めざす学校像>

子どもを育てる具体的な取組がある学校

取組のないところに成果はない

取組の3本柱・・・勉強する子・つながるやさしい子・元気な子

<学校・PTAの統一スローガン>

『すべては四錦の子どものために』

☆グローバル化時代に豊かに生き抜く力を育てる
(グローバル人材の育成)

今の6年生が大人になる頃、グローバル化が進み、科学技術の進歩もあって他国の人と一緒に暮らしたり仕事をしたりすると言われている。そのときに必要な資質・能力を育てる必要がある。子どもたちの65%は将来今存在しない職業に就くといわれたりしている

＜今年度の重点＞

すすんで聞き、すすんで話す子 (めざす子ども像)

- ・人として、大切なこと (コミュニケーションの力)
- ・昨年は「しっかり」→一歩すすんで「すすんで」
- ・「聞く」→人を大切にすること 傾聴する
- ・すべての教育活動の基本である。
- ・英語活動・外国語活動で大事にしていることを全ての教科・領域で徹底する。
- ・相手が言おうとすることを想像力を働かせて聞く
- ・自分の思いをもち、相手に伝える。

一人ひとりに確かな学力をつける

- ・学力保障
- ・ユニバーサルデザインの視点で
- ・「すべての子どもに届く授業」をする

外国語活動・英語活動の指導に自信をもつ

- ・研鑽をつみ自信をもって指導できるように。
- ・H27・28 国立政策研究所 教育課程研究指定校 (外国語活動)
- ・H28・29 京都市英語教育推進拠点校